

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.8 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 < 三宅(2)地区 >	養父郡 関宮町 三宅		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
養父郡 関宮町	三宅		H13年度	H15年度

事業目的		事業内容
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 260m H = 4m

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家13戸、国道9号、一級町道(三宅村中線)、二級町道(三宅西の谷線)がある。 平成10年に、崩壊による落石が発生し、斜面は不安定な状況である。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 山村部の豊かな緑の斜面は、地域の景観を構成するもので、保全効果は高い
その他	<ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨による斜面崩壊が発生したこともあり、住民の不安は大きく、要望が強い。 過疎対策法、山村振興法の対象地域であり、事業による生活改善効果は高い。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家13戸の他、幹線国道9号、一級二級町道があり事業効果が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向け、法指定や借地の同意を得ている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化も検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家13戸の他、幹線国道9号線、一級二級町道があり事業効果が高い。 近年落石及び斜面崩壊が発生するなど、大規模な斜面崩壊の危険性が高いため、早急な防災対策が必要である。 この度、地元の合意形成が図られ事業執行環境が整ったので、事業に着手する。
評価の結果	着手妥当 左の理由 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。